

緑の風 FAX版

NO. 22
2017年3月3日
JR東労組情宣部

JR東労組結成30年！



記念シンポジウム開催！

▼パネラーのみなさん（写真左から）

只見町総合政策課副課長 目黒康弘様、只見町明和地区自治振興会会長 刈屋晃吉様、只見町布沢地区「大学生と都市住民との交流による集落づくり」副会長（宇都宮大学 OB・元D-フレンズ会長）藤沼航平様、音楽事務所「ジャパン・ユニオン」代表 名和玲子様、JR 東労組東京地本運輸安全・防災センター室長 鳴海恭二様

3月1日、日暮里サニーホールにおいて検証運動のスタートを切る「JR東労組結成30年記念シンポジウム」を開催し、400名を超える組合員が参加しました。
JR東労組は3月3日で結成30年を迎え、JR東日本も4月1日で発足から30年を迎える節目にあたり、30年の検証運動として今回のシンポジウムが開催され、JR東労組に対して日頃から関係を創り出していただいている方々より、将来にわたりJR東日本の鉄道を維持・発展させていくための方向性が示され、「安全・健康・ゆとり・働きがい」の持てる職場を創るための視点が提起されました。

シンポジウム①



人口急減社会の中で鉄道の維持・存続をめざすために
～沿線自治体・住民との力を合わせた、地域興しと鉄道の魅力づくり～

「Soul&Beat TEN-CHI-JIN」公演



エレキ三味線(JIROさん・左)と
ドラム(HIROさん・右)

シンポジウム②



「鉄道安全」と「労働安全」と
「防災・減災」を考える

▼パネラーのみなさん（写真左から）

日本ヒューマンファクター研究所 所長 桑野偕紀様、大原記念労働科学研究所 所長 酒井一博様、信州大学教授 廣内大助様

30年検証運動スタート！